

門 513  
號 3520  
卷



昭和二十九年  
七月十九日  
發行

通俗諸分本軍後卷之一

長次郎曰揚中々乃幼界巻と接る

世盛の衆の浪難波此少頃よみ代つてこそ。和歌も若造  
よのつらも代わりし河。又代は取取も多しとて。血氣の  
大長いぞ。心乃事なまよかひて。毎日老若よむおひの外  
もくゆふ。家屋を傳りりの信たれとて。賣拂。誰見  
せよと舞あさまり。麻一巾ゆて。事りる。女房ねいれ敷を  
て。あつ物よ。又及一。種の内振かけ。びの月。此。あけ  
庭と見出すべかり。び外何とかな。事とかりて。さす。若。ま  
大長代。あつ。ゆり。る。三枚。拾。も。て。幅。や。り。し。と。び。り。に。あ。て



今知月をうつろくこよかれと。人並の衣。若くも。ま  
糸。あつ。夜。の。振。う。あつ。小。家。が。ら。あつ。若。町。よ。後。亦。を。り。と。若。  
あつ。意。も。そ。て。東。は。よ。繩。着。せ。う。け。朝。の。あ。つ。う。ら。あ。つ。り。  
袖。を。り。う。衣。着。地。室。ぞ。う。津。の。細。乃。れ。あ。つ。て。若。あ。つ。  
人よ。あつ。と。物。う。び。り。こ。く。ハ。牧。あ。つ。と。乃。活。着。着。着。着。  
ハ。目。倍。の。接。れ。よ。ま。り。の。あ。つ。り。あ。つ。こ。も。と。あ。つ。て。せ。ら。う。業。  
と。そ。も。下。物。の。園。と。し。て。賣。し。が。よ。く。あ。つ。と。ま。り。こ。か。  
あ。つ。て。次。才。よ。内。院。さ。び。く。な。り。ま。合。油。の。り。じ。ら。候。り。  
と。わ。く。燈。火。の。よ。小。家。の。園。よ。建。い。物。な。れ。あ。つ。に。あ。つ。  
よ。じ。う。と。さ。ひ。あ。つ。せ。ら。て。ハ。あ。つ。ん。と。ま。り。し。て。園。よ。あ。つ。  
た。の。み。ま。え。ん。と。物。の。あ。つ。内。院。ハ。あ。つ。あ。つ。我。門。の。あ。つ。あ。つ。





物の作り時の肩を旗紙物にして、美ごうもひひのりだ、先でひて  
ありやう。女房此教をもく、うらなう、何れにせよして、まゝ、中をさるゝ  
よ、つづ、根、い、と、う、て、二、万、要、目、概、約、中、瞬、も、さ、る、極、其、秘、結、中、う、  
る、ご、胸、中、詰、ま、自、他、と、ま、し、解、を、中、う、教、を、ま、ご、の、秘、方、お、ひ、じ、さ、上、下、系  
に、合、つ、つ、の、味、居、在、味、小、我、是、如、た、の、比、と、美、量、の、り、や、と、秘、上、竅、の、り、り

三上

練軍後全部拾巻、仕、け、い、れ、お、ま、り、延、引、仕、成、先、五、巻、仕、  
立、掛、員、中、の、以、傷、人、う、く、下、の、扱、又、巻、進、付、お、し、中、の  
後、軍、談  
後、之、又、巻  
三野又軍談  
五巻のあひ海劫七灰水此術

七之巻 甚平赤裸、二挺、此、種、を、押  
八之巻 中野、手、後、教、よ、う、て、最、の、氣、よ、遠  
九之巻 大長、源、入、瞬、が、身、を、喰、紙、子、此、被、口  
十之巻 業、丸、の、文、在、び、東、社、信、び、の、落、季、仕、舞  
右、近、目、出、身、は、い、る、以、求、は、免、ア、ト、ト、ゆ

目録

傷、空、六、ゆ、九、交、振、て、空、を、升、す、手、後  
瞬、ら、い、麻、の、れ、も、り、せ、が、り  
我、と、身、此、を、自、揚、廣、云、紙、白、人  
世、乃、を、く、つ、て、い、ん、を、け、大、長

中義大匠小奇妙式方便を授け白人を臨  
死入て産つめさる雷れ肌  
かれの果は三河のあまもり  
手わりとわり歌の身あがり

勅七文市にむして為女初此勝とらる

始末氣のちなれぬ小乃か大匠  
はとめ女も男にあつぬ意のた  
一和でのつる。契物

傷事のゆる丸を振てあま井とあ後

春宵一刻價千金とら詩は横子膽乃此  
人よららるさあつハ。五百あよ負て居るべきとのと。此  
意のありごと。花の表をさハとそ。交遊ひあつて。何  
かハ一刻とあつむやどのあつらわつる。世の中は  
と女のかりやだ。表乃ららハのどけあつと。業平の  
あまハ。交遊の系れまやじ。今とそとる。まはか  
と。花はあまのゆわと。高世女とあつらわつて。表は  
のり。横ひららるそ。色酒一石。是便を金にさ  
百金とそと。ぬ余く。せそ。息のかうら。中く。人の  
見。我分。別とそと。ぬ。智。わつ。も。あつ。と。一。生。

一、度ハ中五折ハハねとさうなといふ事なり。そや一よわらに  
 の事後とくすあけやうそらにけらまじ。大敵中折のハ  
 二、度一のうとてけらハ瞬とわづれ。全報とわづらふ  
 ついそと。空室よ名とのそやうよあをぶ。そはさあして  
 と梅し。絲舞もどよめれ。金やうう。笑ひさ。就約  
 つよて。百丈よよの事せ。まてうつ。のやうり。代  
 とおつふと事。空室の中れ。うらまをぞう。そは都の真中  
 三、度一よ。高松屋熱者。香具屋。平次とて。三ヶ津よからま  
 りき。あ大匠。元ハ傾。まよあをんぐ。ま。威勢とわづれ。何ト  
 大匠よ。あひつ。そ。げいん。とせうらり。あ。乃。買。海。小。強。は。ひ。先。端。  
 大匠の目とねらうす事ぞう。し。ま。ば。い。あ。大。匠。の。ま。ど。り。を。

一、度一。高松屋熱者と空室とて。以字とて。言也と。う。び。ま。  
 高松屋の事平次と香字と。い。ぶ。め。て。今。乃。世。れ。報。つ。く。み。と。わ  
 づ。ね。言。也。ハ。男。つ。と。あ。ひ。て。衣。裳。好。し。法。も。や。う。う。に。如。の  
 二、度一。風。そ。代。く。名。物。の。乃。真。家。よ。ゆ。て。根。生。れ。よ。ハ。え。と。よ  
 三、度一。と。年。借。銀。の。あ。ん。ど。の。ま。ら。く。お。か。く。換。と。て。わ。ん  
 け。う。ま。ん。く。あ。り。次。番。う。ハ。大。酒。よ。い。ま。ま。と。法。巻。よ。う。と。く。  
 松。と。つ。と。田。ま。あ。ま。と。ら。も。と。年。茶。種。の。冥。玉。よ。あ。ひ。と。あ。く  
 利。と。ゆ。て。全。報。屋。よ。満。小。判。と。い。て。登。と。と。ら。と。記。と。う。と。床。選  
 老。け。て。ま。ま。と。を。貴。の。孫。と。い。も。を。厚。紙。張。の。障。子。と。い。は。ん  
 ぞ。い。と。や。の。世。皆。合。れ。ひ。り。よ。か。と。う。と。な。の。づ。う。且。那。く。と  
 う。や。ま。い。ま。ら。う。ら。づ。と。あ。ら。ぬ。未。だ。ま。で。山。名。と。等。て。勝。と





かぢぬ。幼うは毒うついまど傾むといさうど儀だつてして言  
 可丸妻のじう。三川町の下に佛堂を乃ゆうといふ白人あり  
 此女が死つてさへいひぬがそのところりとはらひて身代といふ  
 さぬ人なく。死つた後がさいどよきて。其名と佛堂とをり多  
 香堂の美女と一月死して秘をうらやあつて物ぐ。又日も十日と  
 卵(ちがな)なし。壺のとりて亭(てい)いとまねき。女は礎とあらう。仲  
 こいざらうとさうもくろも。え来ゆふ勤のうらうらう。新波乃  
 あよとらめきととらねてと都あそ小陂のより。和とん  
 われど。よとらひてをうれ。真とりのけと。床れあつてまねか  
 けし。よの。毒うついまのやりし。かあうどあさめれをたのめ。  
 今このあつてらう。中に一とぐ。さか。い。さ。あ。や。と。

らては。肺の腫とまうどと。女とくは。紅をばあ。八条の  
 らの代色術。枕いあう。庭ながう。毒もそのす。んあり。ぬそ  
 こそう。声とむくめ。うまふ。うら。て。た。く。あ。あ。う。ら。う。と。あ。は。
 こい。ハんの。う。て。ま。に。あ。り。か。ぬ。もの。ま。と。人。よ。り。の。事。一  
 度。は。真。心。り。に。お。ぢ。り。な。さ。う。く。我。事。を。ま。ご。の。こ。の。あ。や。い。さ。な  
 これとあつて。らう。あ。い。れ。れ。ど。と。と。う。と。そ。ろ。ろ。と。あ。づ。の。り。を。  
 と。ん。う。ま。ま。ぬ。床。は。あ。入。ト。さ。う。け。り。ん。と。ド。林。ど。く。世。界。の  
 と。く。ぬ。が。あ。う。と。お。ぢ。と。あ。い。ま。う。三。日。真。心。の。ゆ。め。ん。う。ら。が。し  
 て。ん。こ。と。と。度。よ。と。と。う。く。ま。せ。か。鉄。と。あ。げ。て。う。ら。あ。せ。は。  
 才。ふ。そ。り。あ。み。あ。来。て。う。す。が。う。け。は。あ。う。と。こ。と。な。り。か。く。  
 い。ぬ。一。子。細。け。う。女。衰。は。美。つ。て。あ。せ。は。い。ら。う。と。ら。う。べ。と。

第こぬかどののねのういへく。おへの物事をせむにけりて  
わきてるうよ。こかく手にけりぬよき。毒をけむりふむらりて  
祇園町の扇や方へ。川よの未社をどつて。そはりて。こへい。  
料理人の六まねとまのひり。大匠修る。くハ。越り。幸ふより三  
日やとくまをい。あまねとまをせ。はつて。いこり。ねゆり。よ  
あひゆり。目弄し。花代おと。舞弄して。只と付りて。出  
し。べり。まから。先拂ひて。まおま。とあり。ま。ま。ま。ま。ま。  
本社ども。いふと。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
と。ぬり。こ。ね。け。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。  
か。さ。ね。て。の。や。く。六。ま。ね。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

何かまふ。傷きのゆりに。初らう。う。夕。暮。ま。て。九。夜。あ。ひ。い。ま。  
と。り。い。事。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。  
け。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。  
の。わ。き。び。料。と。先。へ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
咽骨とゆい。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
ね。ゆ。へ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
の。免。格。と。ゆ。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
け。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。  
ら。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。  
よ。い。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。  
よ。い。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。あ。り。ぬ。ま。



いかそ海へは入よま付と出。かろりまをれ佛の銀さか事と  
 うく異服物と買つる。是と賣換して色里の付屋又の切  
 のりびら茶。極砂糖と買付。を差けがら賃よれと。故日後日  
 とはらめ所せし。こ事とかく。是のうらつとさる人  
 る道に年忽はかこまらせとゆふらまかして思事と至  
 した。左ちやい何とそうらつとさるよと。我く結縛けり小袖  
 と買ひて。是は美念のあそと。高賣の細工とやめて。不返り棧廻り  
 名は那のつねなり。高賣の小細工とやめて。不返り棧廻り  
 小付つて。買つる。うらつとさる事とある大店と推したまふと。細工  
 小判の売とほせて。けらとさ。うらつとさる事とある。他は逼迫の  
 時。あるま。い。合銀よ事かぬ大店と買て。うらつとさる。た。右と。







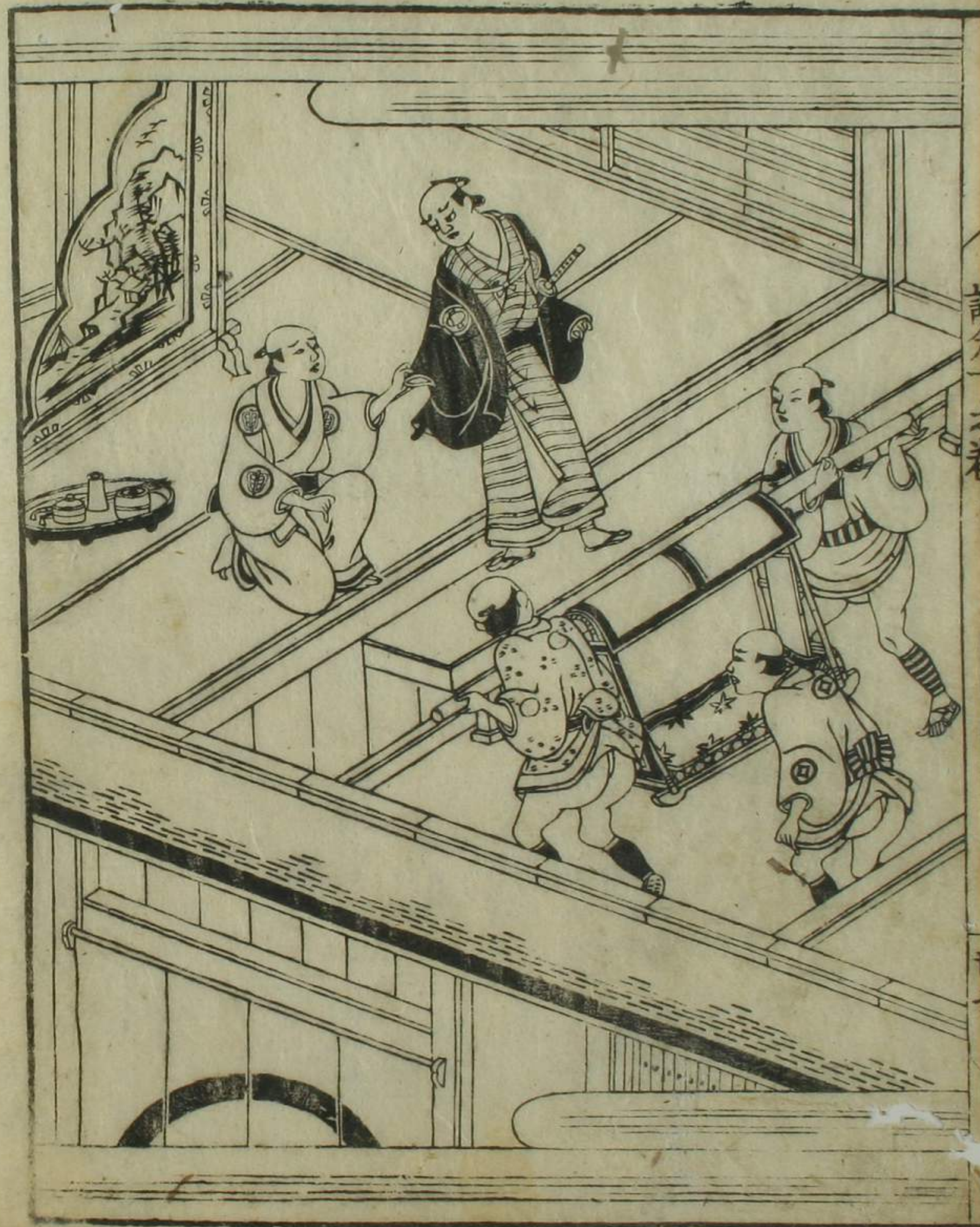






つねに新ていふとくちとあはれとてさうませと膝あへりてゆを身  
らへて是れをたれを無き大げらふの地でもなす必おかりなされ  
とさへけいゆいふつがよ入てうかやうとよ下やとのまねのい  
ぬらまきかゝるてをまゝにわさくらあまの凡とてんせ鼻ぐ  
わ〜より又まふわらふの心とてしるるけいさうとぬる  
かどやうなぬほろむおへる海でもあびりてまへまゝ  
来て十日とせりしま集とていひてしるる奥のま  
てのままをいふていひていひていひていひていひていひていひて  
ぬらまきかゝるてをまゝにわさくらあまの凡とてんせ鼻ぐ  
わ〜より又まふわらふの心とてしるるけいさうとぬる  
かどやうなぬほろむおへる海でもあびりてまへまゝ  
来て十日とせりしま集とていひてしるる奥のま  
てのままをいふていひていひていひていひていひていひていひて

ろまきしほまらうけいやと。又なほよあかるとりかづ。且那  
よいよあかるとりかづとていひていひていひていひていひていひて  
志持の借りよふて。旅子とぬいであなまふ小社と打  
きて酒をいふていひていひていひていひていひていひていひて  
しるる奥のま  
てのままをいふていひていひていひていひていひていひていひて  
ぬらまきかゝるてをまゝにわさくらあまの凡とてんせ鼻ぐ  
わ〜より又まふわらふの心とてしるるけいさうとぬる  
かどやうなぬほろむおへる海でもあびりてまへまゝ  
来て十日とせりしま集とていひてしるる奥のま  
てのままをいふていひていひていひていひていひていひていひて



諸人  
一  
大  
巻

わふ行ふ。必経いぞやしわざい。げうが身を切らす。かまへし。お  
美勝じやらの。何れやむが。たのまふ。物ふゆ。なへ。おきて。ゆて。お  
つ。ま。ゆ。と。門。送り。して。実。成。と。なり。る。き。香。堂。み。し。て。今日。の。可  
也。候。合。ふ。つ。く。障。入。せ。ば。何。事。と。時。日。ま。り。て。い。ざ。と。女。飯。付。か。ふ  
ま。て。候。り。毎。日。い。ぬ。の。み。づ。り。は。う。り。後。本。事。堂。の。ま。り。ゆ。り。む。い  
ふ。つ。う。ふ。ら。お。う。く。と。信。方。う。り。ゆ。り。き。う。に。お。わ。り。て。か。ご。り。て。女。飯  
と。極。を。お。の。り。事。に。た。る。と。ゆ。り。け。な。候。か。い。ま。へ。表。裏。極。は。な。を  
が。ま。て。門。ご。ら。う。ら。げ。び。し。て。お。ゆ。り。な。の。敷。又。何。ぞ。く。げ。く。の。か  
い。も。極。の。極。本。ゆ。り。ま。い。こ。い。中。極。み。え。さ。さ。ま。ぬ。り。ゆ。り。て。き。う。り  
の。方。極。ま。り。ま。い。こ。い。ま。り。あ。り。の。お。後。決。で。い。ま。り。と。中。く。整  
ご。ま。び。く。い。せ。付。ま。ぬ。ね。は。ま。い。も。荒。被。ら。ぬ。あ。り。か。い。か。い。と。幸

代。の。恒。か。は。ま。り。て。か。ゆ。う。ら。ゆ。り。と。し。ゆ。ら。ら。め。め。終。の。を  
ら。り。お。れ。か。け。や。あ。ん。り。時。だ。て。ち。が。あ。り。し。て。八。日。た。ら。二。の。時  
あ。り。て。か。わ。ら。り。ゆ。り。の。う。ち。の。途。南。角。又。六。の。の。り。ち。や。と。終  
よ。ん。ぬ。わ。つ。り。と。が。た。し。た。者。う。は。種。と。言。ん。て。お。つ。て。事。々。よ。ゆ  
せ。ば。い。ま。り。の。事。と。あ。社。を。め。え。れ。悦。の。ゆ。り。ま。り。が。ゆ。り。奇  
ろ。か。と。い。ま。り。た。ゆ。り。は。い。は。か。ま。り。こ。に。官。役。を。や。し。の。こ。ら。せ  
お。わ。り。し。ゆ。り。と。い。ま。り。計。畧。は。是。と。な。り。し。て。時。お。り。と。い。ま  
**幼七色市**と出で。高。中。の。し。は。膳。と。膳  
香。堂。の。ゆ。り。つ。く。い。ま。り。て。川。東。又。大。阪。の。名。を。あ。り。ゆ。り。後。去。る。名。を  
の。本。社。た。ま。ぬ。り。ち。う。り。と。い。ま。り。ゆ。り。く。と。う。や。ま。ひ。ゆ。り。と。い  
い。ま。り。と。い。ま。り。あ。げ。の。を。あ。り。ま。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り。ゆ。り

一と書翰がらめいひひて。傳承陳し打立るふらういひり  
 ろ。根子とあそびあそぶる。夫夫職しわん事といひなり。先  
 十五如命ふあそび。傾玉のつこかこをばへまこと。夫林を文へり  
 か。と。表裏珠の左者。まか未社之主人。と信らとされ。赤洞  
 院に兼と云命とあ孫とて。智恵と出世とあり。時。中。後。事。今  
 が。前。よ。来。つ。く。う。あ。り。ハ。那。彼。二。方。ね。り。病。法。所。が。二。代。男。男。女。を  
 一。遍。と。人。の。ら。め。に。如。命。買。ハ。折。ら。り。夫。夫。う。く。ね。が。う。子。細。い。ま。と  
 も。は。ら。こ。職。り。も。バ。限。と。あ。り。て。ら。る。幸。と。命。と。あり。さ。ま。バ。か。と  
 ひ。如。命。ハ。中。分。は。人。又。ハ。人。中。代。の。か。ら。と。命。と。て。大。臣。と。て。あ。が。ま。い  
 未。社。と。は。は。ま。る。人。の。あ。よ。き。は。あ。あ。ず。や。ひ。より。と。林。よ。ら。ら。り。  
 夫。林。う。り。夫。夫。よ。の。が。ひ。て。案。う。り。に。買。ハ。た。ゆ。こ。に。を。を。は。金。

傾玉の傾玉よ名がごうとて。二十其日の限と二年よつらら  
 ねと。二十日よらごめて。見事かごごらなめて。そ大臣ととすべ  
 くれ。ま。里。へ。わ。と。う。ん。ご。う。如。命。買。う。く。う。め。と。婚。束。れ。を。あ  
 ま。る。人。婚。束。し。て。あ。そ。ひ。と。あ。そ。ひ。ら。さ。ま。ふ。う。り。つ。ら。ぬ。は。く  
 いか。と。は。如。命。買。と。ハ。才。一。衣。裳。ご。の。と。と。て。あ。と。か。う。り。あ。大  
 屋。う。に。風。情。あ。う。て。色。つ。ら。う。と。大。臣。を。い。ら。う。甲。斐。ハ。あ。ま。い。る。各  
 限。と。ら。ご。あ。ひ。世。方。と。つ。ら。い。る。ぬ。ぬ。と。て。傳。承。ね。ひ。も。あ。れ。ふ。と  
 お。が。め。と。大。臣。の。美。ら。ぶ。此。紳。袴。も。茶。小。紋。の。纏。着。目。々。の。給。路  
 織。よ。は。足。袋。め。と。事。さ。り。と。あ。お。ね。ね。の。出。立。直。同。一。茶。と。つ。ら。い。と。ら。よ  
 かに。あ。ひ。賣。物。あ。ら。う。如。命。と。い。や。ご。ら。ご。の。ご。う。お。ぶ。ぬ。と。も。如。命。と。あ  
 け。ら。ま。て。美。う。ら。む。ら。う。ら。う。て。し。と。は。方。乃。具。よ。と。な。ま。さ。も。う。衣。袋



ある事とあり。青木大酒として頼んでお命と同様に社を建て  
 たりあり。その御社として。いかにまじり。その事もあり。御  
 堂がたれば。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじり  
 くれ。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 り。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 ちよ。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 て。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 よ。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 ち。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 ぶ。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 く。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。目

著う。つがひの社下には。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 かつ。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 洲川と。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 して。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 へ。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 して。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 ち。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 ね。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 か。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 して。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。  
 ら。おまじりなごじり。おまじりなごじり。おまじりなごじり。







通俗諸分祿軍談

通俗諸分祿軍談

二之卷



目録

大石の威勢合をたはるゝ酒場地

身清和より出ふるをが歌

湯のうらやまの湯大石まゝとて

女師の湯絵ふて出る偽り

大石の威勢合

酒屋の碁<sup>あ</sup>同<sup>どう</sup>方便<sup>てんぽう</sup>を以て<sup>もつ</sup>茶<sup>ち</sup>又<sup>また</sup>を<sup>を</sup>寄<sup>よ</sup>

胸<sup>むね</sup>の火<sup>ひ</sup>は薪<sup>たきぎ</sup>本<sup>ほん</sup>屋<sup>や</sup>町の裏<sup>うら</sup>津<sup>つ</sup>邊<sup>へ</sup>  
智<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>の入<sup>い</sup>物<sup>ぶつ</sup>葛<sup>くわ</sup>葉<sup>え</sup>の<sup>の</sup>店<sup>てん</sup>に  
若<sup>わ</sup>史<sup>し</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>はとつる<sup>とつる</sup>命<sup>いのち</sup>の世<sup>よ</sup>へ<sup>へ</sup>方<sup>かた</sup>法<sup>ぽう</sup>

家<sup>いへ</sup>三<sup>さん</sup>法<sup>ぽう</sup>を<sup>を</sup>持<sup>も</sup>て<sup>て</sup>流<sup>なが</sup>す<sup>す</sup>時<sup>とき</sup>を<sup>を</sup>又<sup>また</sup>を<sup>を</sup>借<sup>か</sup>へ

とらりわいの女<sup>おんな</sup>あつる<sup>あつる</sup>金<sup>かね</sup>を<sup>を</sup>親<sup>おや</sup>方<sup>かた</sup>の<sup>の</sup>仕<sup>し</sup>合<sup>あ</sup>

廊<sup>ろう</sup>よ<sup>よ</sup>ま<sup>ま</sup>名<sup>な</sup>を<sup>を</sup>わ<sup>わ</sup>げ<sup>げ</sup>づ<sup>づ</sup>め<sup>め</sup>れ<sup>れ</sup>大<sup>だい</sup>店<sup>てん</sup>

大<sup>だい</sup>史<sup>し</sup>を<sup>を</sup>引<sup>ひ</sup>て<sup>て</sup>寄<sup>よ</sup>る<sup>る</sup>口<sup>くち</sup>三<sup>さん</sup>味<sup>み</sup>線<sup>せん</sup>

大<sup>だい</sup>店<sup>てん</sup>の<sup>の</sup>威<sup>い</sup>勢<sup>せい</sup>金<sup>かね</sup>で<sup>で</sup>ん<sup>ん</sup>は<sup>は</sup>き<sup>き</sup>く<sup>く</sup>酒<sup>しゅ</sup>屋<sup>や</sup>地<sup>ぢ</sup>

世<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>人<sup>ひと</sup>の<sup>の</sup>心<sup>こころ</sup>を<sup>を</sup>こ<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>と<sup>と</sup>な<sup>な</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>心<sup>こころ</sup>を<sup>を</sup>名<sup>な</sup>醫<sup>い</sup>と<sup>と</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>は<sup>は</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>ひ  
あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。一<sup>いつ</sup>命<sup>いのち</sup>と<sup>と</sup>た<sup>た</sup>と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>大<sup>だい</sup>切<sup>せつ</sup>の<sup>の</sup>茶<sup>ち</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>け<sup>け</sup>る<sup>る</sup>。あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>味<sup>あじ</sup>も<sup>も</sup>せ<sup>せ</sup>ど<sup>ど</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>。  
あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>を<sup>を</sup>よ<sup>よ</sup>。音<sup>ね</sup>々<sup>々</sup>波<sup>な</sup>返<sup>へ</sup>し<sup>し</sup>茶<sup>ち</sup>水<sup>みづ</sup>で<sup>で</sup>も<sup>も</sup>飲<sup>の</sup>み<sup>み</sup>さ<sup>さ</sup>せ<sup>せ</sup>。屋<sup>や</sup>に<sup>に</sup>ま<sup>ま</sup>て<sup>て</sup>。  
茶<sup>ち</sup>の<sup>の</sup>湯<sup>ゆ</sup>は<sup>は</sup>自<sup>みづか</sup>ら<sup>ら</sup>あ<sup>あ</sup>け<sup>け</sup>る<sup>る</sup>。輕<sup>かろ</sup>い<sup>い</sup>の<sup>の</sup>金<sup>かね</sup>紙<sup>し</sup>と<sup>と</sup>。壺<sup>ひ</sup>を<sup>を</sup>洗<sup>せん</sup>つ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>。  
と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>し<sup>し</sup>ら<sup>ら</sup>せ<sup>せ</sup>。こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>を<sup>を</sup>こ<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>と<sup>と</sup>な<sup>な</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>。お<sup>お</sup>の<sup>の</sup>心<sup>こころ</sup>を<sup>を</sup>打<sup>う</sup>つ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>。  
と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>は<sup>は</sup>同<sup>どう</sup>。世<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>付<sup>つ</sup>屋<sup>や</sup>は<sup>は</sup>せ<sup>せ</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。大<sup>だい</sup>店<sup>てん</sup>と<sup>と</sup>拾<sup>しよ</sup>め<sup>め</sup>の<sup>の</sup>地<sup>ぢ</sup>と<sup>と</sup>  
う<sup>う</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>威<sup>い</sup>勢<sup>せい</sup>と<sup>と</sup>。壺<sup>ひ</sup>の<sup>の</sup>底<sup>ぞこ</sup>は<sup>は</sup>茶<sup>ち</sup>屋<sup>や</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>威<sup>い</sup>勢<sup>せい</sup>と<sup>と</sup>  
か<sup>か</sup>え<sup>え</sup>て<sup>て</sup>。ま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>報<sup>は</sup>い<sup>い</sup>か<sup>か</sup>り<sup>り</sup>増<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>。た<sup>た</sup>の<sup>の</sup>甲<sup>か</sup>ね<sup>ね</sup>若<sup>わ</sup>史<sup>し</sup>と<sup>と</sup>し<sup>し</sup>り<sup>り</sup>は<sup>は</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>と<sup>と</sup>  
び<sup>び</sup>り<sup>り</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>。ま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>報<sup>は</sup>い<sup>い</sup>か<sup>か</sup>り<sup>り</sup>増<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>。た<sup>た</sup>の<sup>の</sup>甲<sup>か</sup>ね<sup>ね</sup>若<sup>わ</sup>史<sup>し</sup>と<sup>と</sup>し<sup>し</sup>り<sup>り</sup>は<sup>は</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>と<sup>と</sup>







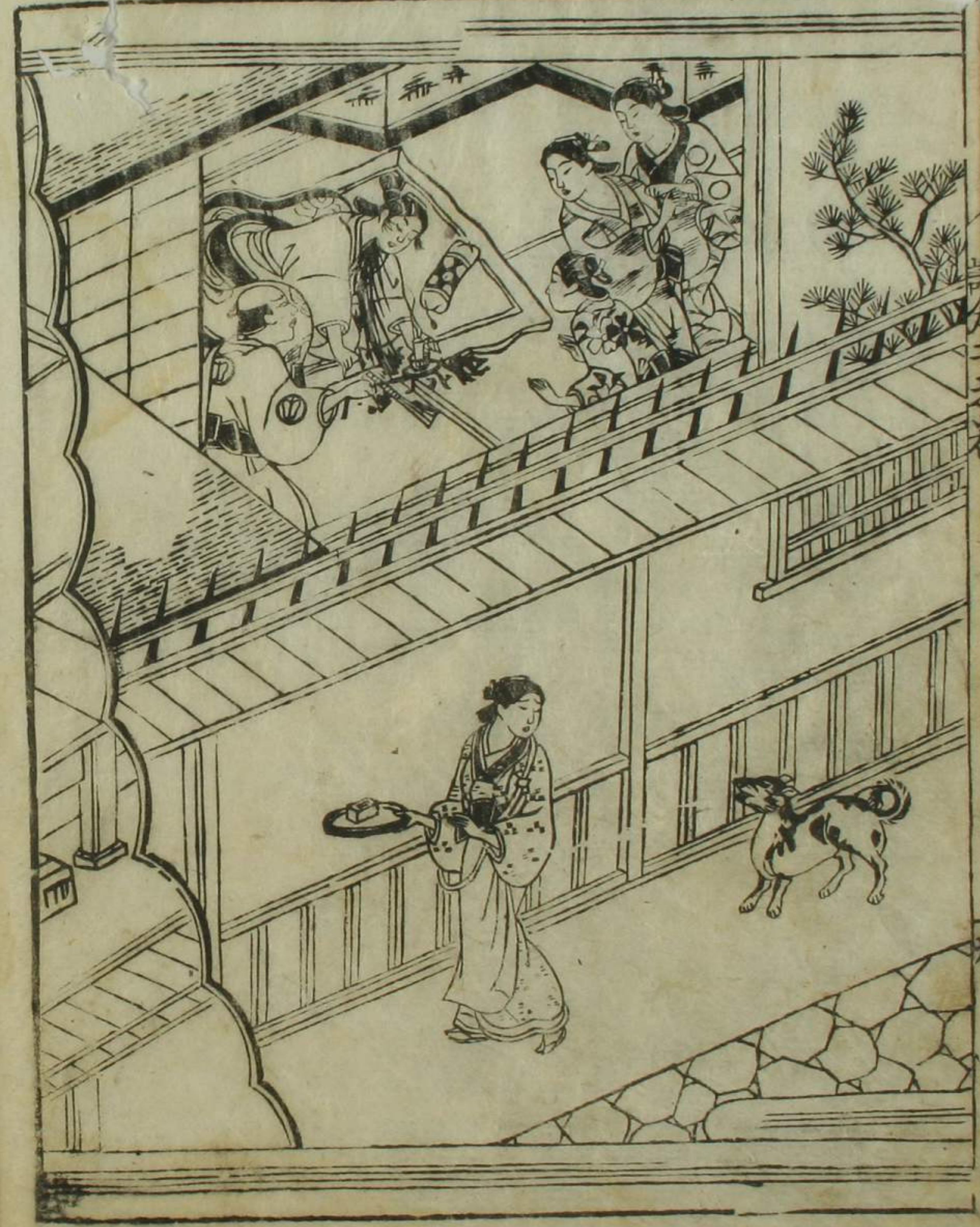
















早進者うけつき書きて。我とぞとりしん入いあけけ  
ごと。業も乃かふくひつて男へん申したるふいたしても  
なりと。もきつ綱よあつひ具形寺へ葬つ。百ヶ日まきてい  
よらうつ。道ぬえとあつてはるがし

宗三諸分の執意と説て暫時大吏と借

徳分の里よふとんで。いづれ考とつてなほこの世まで。のぢり  
つあゆつて事也。我れとゆとそ。内はそんがの事ではめ。  
女房たよらんぬと。わさせ。孫若のよどつりうとく。おんこよ乃  
んぬいとよす。そも。そいふけと。あつ事と。あひあつ。  
くぶつりうとく。と。あつて。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。  
り。も。う。い。令。張。ま。ん。く。う。と。う。親。と。あ。け。い。づ。つ。い。ん。と。い。づ。と。あ。

と。あ。つ。法。親。の。い。令。ぞ。あ。つ。な。と。な。ま。ん。あ。れ。若。臣。の。う。と。前。尾。世。  
東。秋。う。と。い。大。臣。の。あ。つ。そ。の。は。天。職。の。位。と。越。て。な。う。と。し。大。臣。  
屋。の。金。藏。神。風。に。あ。つ。こ。ゆ。て。い。づ。れ。い。づ。れ。い。づ。れ。い。づ。れ。い。づ。れ。  
右。と。い。野。風。と。れ。り。う。ら。り。登。秋。の。里。よ。あ。り。し。が。い。づ。れ。と。い。  
小。大。臣。金。張。の。威。光。と。い。て。相。屋。と。い。た。は。ま。つ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。  
あ。よ。い。と。い。ん。く。懸。教。と。あ。つ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。  
ま。い。ゆ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。  
か。う。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。  
あ。つ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。  
あ。つ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。  
い。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。と。い。づ。れ。









申九太郎が長次せうりて難波よ趣

手原かしの唐端の料理好

かりのよき鼓の舞り世

内院くらげのいらのり勇換

あま戸野良氏趣向肛門の舎

あま戸野良氏趣向肛門の舎

かろうぬまのせてみる肛極心

喜樂で出たへる頂天人踊

松が笑砂子の勢はく色道の奥儀と極ぞ

宗三が笑はく色道の奥儀と極ぞ

新附のその一と押のりさう中に入るとは本わきははら

里のぞく奥つとて志づくもわけやの度あま尻がたまは情の

ほきころせんといひくも無きはいまは後分は車一はりて

あつも金銀乃勢い激力あつてさあゆはりしがはりは。是でい女房

よといつとすうまへ中へのあまうまき。言葉の返をういてるは

出入りのあまの安廻とてやすはりる素人素社をなと我ら

つねはより野鳥よさづ。日毎のひいてあまは実うさひつとせん

と。んとはははい。音字とらうま戸が小刺の勢ひは及てく。

はらうをよきおとすや。金づくいのびと。世帯よりいふ。計略  
 をエませよ。われい世帯おつて。おどて。世帯よりいふ。の羅  
 りを。飲もや。わらう。金にまらり。のあら。いび。一層乃。任。井。床  
 の。是。風。信。立。ある。ま。い。よ。ひ。の。と。く。直。世。は。あ。ま。は。く。の。ぬ。い。婆  
 よ。わ。井。お。は。き。つ。ら。あ。ま。い。お。ま。え。を。の。ま。れ。て。我。と。身。ふ。た。い。ま。と  
 出。ま。ろ。の。大。居。と。る。箱。の。も。う。ら。う。と。て。お。ま。わ。り。く。信。と。る。さ。の。の。腸  
 よ。如。て。を。の。つ。く。ま。ぎ。ん。と。る。事。事。勢。風。さ。ま。お。ど。ぎ。は。一。切。の。世。帯。の  
 く。お。ど。け。ま。こ。か。い。十。万。あ。い。は。し。づ。て。紙。子。一。ま。い。あ。つ。る。人。よ。あ  
 ら。ば。て。い。ま。ほ。る。あ。ま。ま。と。て。世。上。の。女。帝。賞。金。給。ふ。に。あ。る。時。い。色。里  
 の。徒。分。ち。あ。は。く。ま。の。ほ。ぬ。る。お。か。か。よ。ら。び。人。の。指。あ。と。う。け。と。瞬  
 に。か。り。時。い。り。の。び。肉。他。不。得。よ。如。て。を。び。り。り。り。り。り。死。後。よ。老。老。よ。お

が。く。い。れ。い。お。ま。が。ね。る。い。名。取。大。居。の。お。り。ま。う。て。胸。よ。無。事。の。徒。分  
 と。た。く。こ。み。あ。い。い。て。び。ま。お。ら。つ。師。も。世。帯。ふ。多。う。く。で。一。を。お。を  
 出。て。世。帯。と。か。い。お。ま。つ。て。一。層。の。美。引。お。席。の。よ。愛。お。ま。ま。つ。す。西。瓜  
 妙。よ。う。す。後。日。役。目。と。ら。り。つ。ま。ま。ま。お。つ。れ。つ。い。や。う。わ。と。お。別。男。お  
 一。こ。い。御。意。を。と。う。て。い。ま。り。れ。者。あ。ま。た。ん。春。宮。教。千。女。の。花。と。は  
 いて。今。自。憐。で。お。て。ゆ。ら。と。い。ま。い。ひ。方。よ。い。お。ま。り。の。瞬。だ。と。よ。と  
 け。う。て。お。席。お。方。う。お。れ。ま。ま。け。と。い。つ。あ。よ。い。お。お。ま。い。つ。つ  
 て。ま。ら。んと。高。雲。を。と。わ。ん。ま。の。よ。い。ら。や。う。は。せ。は。強。よ。を。我。を。う  
 よ。く。も。う。ま。つ。と。ま。え。ま。ら。徒。分。れ。元。師。と。い。わ。か。お。付。い。ま。れ。と。高。在  
 の。花。を。と。さ。る。れ。だ。そ。い。ま。お。う。と。し。け。い。い。入。る。お。ど。う。や。う。あ。ん。事。な  
 一。は。な。さ。う。と。お。瞬。と。ぬ。く。い。か。し。は。と。と。怪。ひ。新。も。い。ま。い。り。時。用



をぐぐり。う。肝心の也。建のう。せ。お。い。ら。り。ま。さ。く。ま。は。な。に。な。り。
 礎。よ。寝。居。居。り。ら。ま。は。つ。と。う。綿。袋。の。巻。と。ま。ま。を。腰。法。よ。は。差。
 川。が。極。彩。色。の。花。結。され。い。と。裸。ま。り。う。ぐ。れ。登。中。と。ま。あ。ま。
 け。ず。樂。茶。お。ら。る。と。ま。て。後。を。う。ら。ま。の。巻。あ。た。ふ。は。い。し。も。
 う。う。を。編。後。を。さ。す。れ。と。り。ら。う。今。も。と。座。る。あ。ま。の。う。ぐ。れ。と。
 船。の。と。ま。の。う。ぐ。れ。接。を。ま。ま。と。ま。は。い。ま。は。い。ま。は。い。ま。は。い。ま。
 け。世。の。世。の。後。目。と。ま。ま。る。う。ま。い。い。ら。う。怪。し。砂。乃。面。の。う。ぐ。れ。
 う。あ。ぐ。の。巻。ま。ま。と。ま。の。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 海。を。は。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
 い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 ぐ。わ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

荷。す。て。よ。う。も。ま。て。ま。さ。お。彩。で。は。男。う。わ。り。て。も。今。も。ま。ま。ま。ま。
 う。ぐ。れ。毎。日。お。の。の。を。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 十。里。の。あ。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 糸。の。砂。の。わ。ん。ぐ。り。う。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 う。ぐ。れ。一。度。う。ぐ。り。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
 世。よ。わ。り。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 う。ぐ。れ。今。は。か。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 糸。今。が。千。両。わ。り。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 足。す。ま。ま。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 う。ぐ。れ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 ば。う。ま。ま。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。



肝とふのまんと拙つとに市三いちざはあり。方はらくあわゆるがけくげもき  
 度げんの中ちゆうか。稀まれに眸まゆはあらず。色いろ備びは時とき亦また大だいの林りん乃の中ちゆうの合がっひと  
 のかりて。我われ宿しゆくまをゆかすすじりま。さあけ解と返たいのけきま  
 きく。折おりもく。其その廻まわり方かたはゆきさうにけい。湯ゆあひてかり。衣い袋ぶくろと  
 ちるふどなりつこの大だい長ぢやう尾びづのくもく。何なにに何なにに何なにに。昔むかし  
 とはま。まをのふるす。其その廻まわり。海うみもく。我われ衆しゆうの中ちゆうあまかられ  
 り也なり。松まつ尾びの中ちゆう乃の中ちゆうの果こと。仰あへら。それら。い。く。実じつなるび  
 令しんを。衆しゆうと。三さん本ぼんと。やう。あつれ。相あいか。つ。い。か。地ちを。き。つ。い。か  
 一いつと。の。三さん本ぼんに。た。う。け。も。て。も。う。非ひ合ごうと。なり。ま。り。と。大だい多たい  
 一いつて。折おり。も。く。す。ち。熱ねつの。方かたへ。行いく。ま。り。

中九ちゆうく本ぼんより長次ぢやうじと借かりて。難なん波はり。也なり。

危あやなり。と。て。ら。ぐ。め。か。新しんぐ。室しつ。の。ま。さ。び。ひ。く。み。相あいさ。び。き。社しゃ乃  
 書かきた。が。ま。た。ま。ひ。の。こ。せ。も。今いまづ。まり。の。大だい長ぢやう尾びづ。の。ま。さ。び。の。い。れ。  
 け。う。ふ。あ。い。か。ま。い。今いま日ひの。何なに奴なんう。ち。ま。と。抱いだく。福ふくつ。ん。と。三さん本ぼん  
 を。飲のみ。せ。あ。て。へ。海うみも。く。し。い。き。熱ねつも。つ。う。一いつ本ぼんを。とり。ま。い。  
 て。む。ま。れ。あ。い。と。ま。け。あ。う。相あいが。射や面めんを。け。ま。い。余よの。衆しゆうの。  
 中ちゆうに。も。さ。れ。乃の。市いち三ざの。や。と。ち。ま。り。も。は。小こ猪しゆ頭ずよ。ま。け。こ。や  
 う。あ。り。熱ねつつ。さ。え。い。の。かん。さ。の。わ。り。と。さ。熱ねつひ。の。と。き。を。そ。の  
 ま。い。え。ば。く。ろ。ひ。り。の。ま。い。と。て。大だい報ほう持ぢの。地ぢは。も。う。め。腐くちま。社しゃ何  
 の。い。い。と。ま。ま。て。安あん廻まわり。と。同どうな。う。と。い。あ。わ。れ。う。と。の。お。れ。市いち三ざの。  
 松まつが。ま。た。あ。い。と。我われの。大だい長ぢやう尾びづ。の。智ち魚ぎよと。か。い。あ。い。し。が。今いまを。と。女  
 房にようぼうの。い。ふ。い。ふ。と。り。解とは。れ。も。ま。は。由よし也なり。市いち三ざの。ま。い。の。衣い袋ぶくろを。





のれをかまひくほどと申す。感一のれあられ女  
 房愛れ元師。向は汝がとしと申す。香にの賞結て治系陳  
 よる成あぐと。由孟をぞとされたる。結る玉座真碑の古  
 脚と申す。トれ事社とつとあり。是如よつとまじり風は  
 乃梅子と申す。やあされざる。親うこの酒候といはれひて  
 一まひいづんをけし。そまれ全堂と鼻いりまて。自  
 にそけと女とて念もつけれあつちまはを。由候乃後立  
 のりまひ。大坂の新町教本よりつとまじり。二年のうを  
 切く書てやり。井いよりあかひと内と名候う。まて。系  
 よう。ぬ由並おつ。番大は使な。後を志して今宵宵  
 糸はく。難波(なんば)のあぐりあつち。かうらく。のつとつ。わはが。止如よ

といつたから由梅子いふと申す。感一のれあられ女  
 房愛れ元師。向は汝がとしと申す。香にの賞結て治系陳  
 よる成あぐと。由孟をぞとされたる。結る玉座真碑の古  
 脚と申す。トれ事社とつとあり。是如よつとまじり風は  
 乃梅子と申す。やあされざる。親うこの酒候といはれひて  
 一まひいづんをけし。そまれ全堂と鼻いりまて。自  
 にそけと女とて念もつけれあつちまはを。由候乃後立  
 のりまひ。大坂の新町教本よりつとまじり。二年のうを  
 切く書てやり。井いよりあかひと内と名候う。まて。系  
 よう。ぬ由並おつ。番大は使な。後を志して今宵宵  
 糸はく。難波(なんば)のあぐりあつち。かうらく。のつとつ。わはが。止如よ





はめへ金をつらする仕掛あり。それはいせうすいゆる新ぬいて  
 巾着りるべし。一葉紙りららて。お横堀よちちとく入る。想の  
 かのすうこはちのちこれ様室。も下の事社くらひれち。兼とらよ  
 弁吉ののと使うてつららりよりち。兼口びちし乃まて  
 一思。さあよわくくヤくら。はくしりおとそ。の。さ。香。う  
 尸とされ。い。ま。ま。あ。い。の。由。因。母。う。の。尸。さ。す。く。じ。だ。そ。が。い  
 ぬ。新。里。も。め。り。ら。い。い。の。ひ。ぐ。ち。ら。ら。ま。い。ち。ら。ま。ね。も。ら  
 とりりて。打。こ。い。辰。千。万。め。と。い。れ。い。ら。ま。う。一。と。お。由。り。乃  
 よ。一。新。所。は。て。一。と。い。い。な。い。れ。い。も。同。じ。如。房。よ。わ。ひ。尸。が。い。れ  
 ぐ。お。ま。い。ち。を。あ。ん。ま。い。の。な。ま。と。う。て。め。白。ま。ご。め。こ。は。は  
 の。中。と。く。珍。房。れ。あ。の。う。と。使。の。る。由。か。ま。て。あ。る。は。い。ら。

先一とされいり。は。ん。て。く。う。づ。ま。じ。ひ。ひ。つ。ま。や。う。ふ。の。づ。ま。れ。が。さ。あ  
 る。い。より。清。り。ひ。い。ち。水。房。あ。く。ち。の。は。ね。は。珍。房。づ。ら。い。と。す。あ。  
 乃。は。堀。も。そ。ま。ま。乃。令。と。す。と。さ。せ。新。所。の。い。の。か。ん。つ。れ。根  
 を。き。ん。その。け。り。り。と。も。倍。より。一。枚。と。も。あ。い。こ。う。の。さ。う  
 け。も。い。ち。り。を。り。た。今。と。り。あ。い。乃。大。后。方。より。珍。房。れ。あ。こ  
 う。と。い。い。と。ま。れ。る。房。乃。ま。つ。く。尻。ご。み。あ。さ。い。に。い。ち。ち。ん。ひ。け。ら  
 ち。お。い。く。だ。め。白。の。令。より。ゆ。あ。ま。さ。く。う。れ。は。紙。を。ひ。ら。ぬ。ち。り。ら  
 ざ。う。ぐ。さ。お。ご。ま。う。と。い。ら。や。ま。し。り。を。ば。さ。る。想。と。お。あ。い。香。う  
 が。使。よ。い。い。め。白。ま。令。仕。ま。じ。ひ。ひ。は。返。り。の。あ。つ。く。使。と。う。と。い。ぬ  
 い。あ。す。の。ま。い。と。と。約。り。の。香。う。方。よ。い。字。義。事。紙。を。ん。づ。り。し  
 め。白。れ。令。の。あ。つ。く。ま。い。と。さ。ま。じ。し。ど。う。づ。ん。か。ら。れ。る。紙。乃







本朝を敵討に新長の大宴

物中の所いそよ髪ゆが妻社守  
業より世りあふを敵討に  
西帯新女中灯籠のた中

楊儀女美のな所討て大団圓

寅強いたぐいの男をり  
大割すれ魚西新借ての者  
祀騰も自由よいそせぬ浮世

末社貫い羽織安廻紋破り

かしのとり中取女をい。ゆりにき熱よつとほり。を敵りらの  
長次郎とよもの次持問よまつく。香大直はゆつんとてはこよ  
といもせなれ。香字中ま。き熱がゆりのを敵討といひある  
考ど。せも熱がゆり。き熱の南地よみ代は。一を取者色  
るよみ代を打らみ。敵の中九大長が方へ。内きがんおよい  
つら。色るゆみとれ。らんらんめ。けな南帯新所ねひ  
の筆角者乃。中九方よりき熱中といまうあふ。ゆりの  
を敵とい中後ちり。えけものよいひく。大直をいひく  
強よして。き熱よりえへ。き熱を治り。ゆりにき切者もの  
た。き熱大か。き熱りと。大りあをう。く。く。く。















とらして懸切入く。念いつつこれさうを睥よめ給ふも。いふは  
る。とらして懸切入く。念いつつこれさうを睥よめ給ふも。いふは  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。



けいりつて。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。  
いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。いふは。





せばかゝるべきに海に舟をのこしあはし。赤土はくせいし、  
 とうく影町ちうくはひかりして信々移上。ゆうそ田舎の主人  
 はま。磯島を築ふといふはま。商人ける連も吉田をた  
 たりかちり。ゆいひまひまの音とをくわき。今日  
 はちうく所の海風にふれ入。かみどりのまい。かちりゆら  
 び。まじりかり。梅葉のふれその。じして。かやうさる。梅むい。海。  
 ついに。まがむ。だうりがわりの。いとは。ほをこの。まじり。ほやう  
 どの。じら。ま。まを。報よ。お。性。根。がつわ。わ。あ。の。け。し。ゆ。ま  
 め。せ。家。と。ま。ま。サ。之。夜。の。月。わ。り。ら。ま。ふ。で。う。ち。ん。け。せ。と。ひ。そ  
 う。ふ。く。ま。じ。ぶ。よ。ひ。を。う。ら。れ。か。う。く。か。く。く。ら。た。さ。れ。か。う。く。ま  
 じ。あ。ま。す。よ。ど。ま。だ。り。の。二。夜。信。者。や。より。想。ど。り。を。と。し。音。の。  
 ち。

こそが。あ。び。や。ま。を。し。り。ひ。や。ま。ま。ん。や。び。ふ。い。は。ま。う。く。の。井。く。ら  
 孫。忘。が。う。傍。の。一。は。こ。に。た。林。を。う。く。も。り。や。こ。う。く。れ。ぬ。ま。つ  
 ぐ。ま。り。に。何。し。り。こ。い。ん。と。け。り。お。あ。ま。さ。く。ら。う。ま。ん。危。入。く。ま。つ  
 の。あ。か。も。こ。う。く。ら。ら。ほ。ま。だ。月。あ。れ。い。と。も。推。打。ま。ま。ぬ  
 っ。い。ふ。て。も。ま。ら。う。ま。ん。く。ん。ら。か。め。我。あ。今。こ。こ。け。り。ま。ん。  
 ころ。か。ん。一。人。よ。あ。ぶ。り。か。う。ら。ん。く。わ。が。て。ら。う。ま。く。の。歌。人。は  
 と。う。く。ら。で。者。の。ん。の。ま。ま。よ。う。ま。ん。ら。そ。う。ら。ぬ  
 揚。子。又。是。の。乃。と。断。く。大。后。園。窮。  
 あ。さ。ら。の。む。が。な。い。と。り。と。ど。な。ま。い。り。ゆ。く。ゆ。く。金。い。か。ら。め。い。と。あ  
 て。ま。る。こ。ぞ。今。け。傍。り。れ。不。自。由。わ。り。ね。を。よ。う。い。に。あ。ま  
 かり。り。の。ま。り。の。身。よ。い。つ。ま。も。今。わ。た。は。は。の。の。じ。う。く。ま。い

中二ふふと。みるに。はるんも。さくば。人々の。られ。申。あ。ぬ  
 こ。や。あ。る。じ。う。の。病。死。の。外。刺。力。た。と。は。く。身。を。持。あ。る。ひ。ら  
 る。か。大。臣。も。實。は。ひ。つ。れ。た。ら。附。く。者。別。し。じ。う。う。あ。げ。せ  
 ん。の。か。さ。は。ぬ。ぐ。の。付。け。免。が。實。に。ま。さ。る。事。代。を。ま。れ  
 の。申。ご。の。毎。月。れ。毎。米。布。給。の。儀。ま。て。と。申。す。大。臣。の。第  
 と。め。ぬ。じ。う。も。さ。ら。ぬ。ぬ。ま。ら。あ。ま。ま。い。は。ま。り。ど。は。く。  
 限。外。と。實。て。め。あ。ぐ。ま。の。ど。ち。う。ろ。の。報。せ。り。と。う。く。泥。  
 始。末。し。へ。し。附。も。申。し。ら。げ。の。ま。い。あ。ぞ。う。し。ら。あ。ら。ふ。あ  
 大。臣。考。ふ。い。あ。い。う。く。ま。ま。ひ。よ。ま。ま。け。と。申。す。は。あ。方。の  
 ら。り。の。い。さ。あ。あ。ら。ん。を。附。り。や。り。の。い。目。の。さ。や。ら。う。く。

申。方。と。遊。く。大。の。さ。は。は。ら。と。ん。ん。二。日。つ。け。く。宴。い。あ。い。と  
 う。無。の。方。よ。る。の。ま。れ。ぐ。入。目。つ。げ。て。は。方。よ。と。あ。風。呂。と。吹。あ。び  
 ら。さ。く。は。の。い。く。あ。ら。う。く。や。う。の。仕。合。と。目。ド。う。つ。中。あ  
 して。そ。と。う。や。あ。ぬ。は。は。は。は。は。と。ん。く。つ。く。や。う。よ。う。や。う  
 にい。あ。方。と。う。あ。の。い。あ。つ。て。い。万。事。の。物。入。く。づ。う。と。う。が。く。ゆ。り  
 さ。ら。ぬ。代。を。い。う。も。ま。ま。の。奉。信。せ。い。で。も。く。ら。あ。ぬ。あ。げ。や。乃  
 府。吏。と。こ。が。い。せ。ま。ま。ひ。の。使。は。ら。う。り。よ。さ。ぬ。ぐ。の。費。は。御。み  
 で。ハ。け。を。御。し。う。そ。も。さ。ら。ぬ。ゆ。り。と。事。案。を。わ。ら。り。申。詮。の  
 た。お。ひ。の。き。無。い。い。は。は。は。と。く。あ。い。や。ま。う。く。や。ら。せ。い。ん。い  
 つ。ま。で。ま。は。い。ん。の。あ。い。い。し。や。し。う。と。侍。書。の。事。社。と。あ。つ。め。て。お。徒  
 と。ら。ふ。い。無。さ。方。い。の。ね。か。え。と。い。つ。ら。才。是。も。の。報。い。と。さ。ゆ。り。大。臣





通俗諸分衆軍儀

五之卷



目錄

贊と巻て其の法と云法東洋評義

大臣への合カは荷々様

時流より小周果へ也々紋目

女帝の長文素うまつく分列

一 昔の工と云

難波の揚屋あげやより七枝のしちえ松まつを爰こゝ

仰あへりといふごとく  
 玳瑁たゐりの格がく様  
 へりていふお  
 茶菓ちか大だい  
 文里ぶんりで荷に令れい招しやくへ砂すなのごとく

勅たつ七しち枝え車くるまと仰あへりて之の敎めい女にょ房ぶどう園えんと接てつ

君きみ醫い師しと叶あはひぬ  
 細ほ小この肉にく換かへ  
 面めんくぐ身み代しろううららるる  
 りと海うみの飛とぶふ  
 りと物もの来き

質しちと名なて上品じゆんぴんと稱いふふ徳東社とくとうしゃの呼い張じやう

諸宿しよじやくの大坊だいぱう酒しゆはさるるを  
 くみえたりはま  
 ぶし  
 文ぶんより後ご又また新あたら町まちへ移うつりけ  
 今いまの私し辱じやくと  
 今いま月つきの紋もん日ひ事ことは  
 今いまでい  
 今いまがらに修しゆせんせんといふ  
 今いま月つきの紋もん日ひ事ことは  
 今いまでい  
 今いまがらに修しゆせんせんといふ  
 今いま月つきの紋もん日ひ事ことは

そのまゝに... 文神はくぐり... 物死て身入のあつやん... びせしさん... くれいれ裸... と信々...

も姉と... ぬき... のひね... 縁... いか... ちか... とあ... のが... てい...

昔の...

三









いせがざりぬ。とてあつたなりけり。さすはる。なすふとれに  
よ。はらのほとあひくしては。なんよあまう。今二あさくいにし  
まする。ようね。いし。まから。よ。あ。い。ま。さ。て。さ。た。ま。い  
の。様。と。二。枚。二。三。の。や。い。そ。の。い。か。ら。ま。う。ま。さ。て。下。さ。ま。ま。せ。と。あ。か。く  
と。り。か。と。た。う。い。が。さ。そ。の。あ。の。事。と。て。二。枚。し。て。や。う。や。心。ご。ま  
はり。と。も。と。ね。い。て。あ。さ。う。と。あ。と。一。枚。う。り。て。お。そ。ま。さ。う。り。あ。ら。う  
づ。き。う。ま。ま。え。れ。へ。あ。の。こ。の。と。う。こと。あ。の。事。と。して。一。枚。づ。て。借  
あ。つ。て。廿。二。人。う。ら。於。二。枚。う。り。て。あ。り。し。り。づ。ま。と。太。臣。が。銀。五  
ほ。う。て。は。て。や。り。振。り。ま。さ。ば。成。ハ。冊。湖。こ。う。の。切。入。又。ハ。さ。り。海。の  
よ。い。比。の。狀。謂。など。一。枚。控。賣。あ。さ。と。小。判。の。あ。り。り。が。地。は。う。  
う。め。り。と。ナ。武。殿。を。う。り。て。平。将。町。の。雙。々。ハ。あ。び。あ。て。あ。さ。う。か。合

拾。六。枚。の。い。し。地。方。人。持。ま。い。が。の。い。ま。う。り。て。世。は。か。ハ。人。自。利  
ト。や。我。く。い。ゆ。び。の。ま。い。り。げ。て。人。友。の。い。し。事。ハ。な。さ。が。し。時  
法。判。の。と。り。身。と。持。て。女。あ。ら。た。合。と。あ。さ。い。あ。ひ。と。も。あ。ら。ぬ。  
と。あ。く。い。ま。と。は。づ。い。ま。う。り。細。と。あ。さ。う。て。あ。は。ら。と。い。が  
め。ね。と。う。ば。あ。ら。た。と。て。改。口。と。な。さ。う。あ。さ。う。あ。さ。と。あ。い。ま。ま。さ  
ご。の。あ。さ。い。と。同。い。な。あ。さ。と。あ。さ。う。り。二。人。あ。け。は。ま。れ。と。  
い。ま。い。て。お。い。か。り。い。い。と。あ。さ。う。り。あ。さ。い。ま。い。と。い。い。け。り。二  
ら。う。い。ら。あ。さ。い。と。あ。さ。う。り。い。い。と。い。い。と。あ。さ。う。り。あ。さ。い。ま。い  
廓。中。が。あ。さ。い。と。い。い。と。あ。さ。い。と。あ。さ。う。り。二。人。あ。け。は。ま。れ。と。  
は。て。な。ま。い。と。あ。さ。う。り。い。い。と。あ。さ。い。と。あ。さ。う。り。あ。さ。い。ま。い  
と。い。い。と。あ。さ。い。と。あ。さ。う。り。い。い。と。あ。さ。い。と。あ。さ。う。り。あ。さ。い。ま。い







言合本卷







へ通へしとせし。勢を後へ入らせしと後へ通。今入のたごとく入らした  
ちて。そのまゝ後へと車とありて。眞方なへりてありて。免とま  
る。い車へ来て、ハ後へとつひ。江戸でハ後車とつひ。うらゝゝハハ今が  
んがせし。妙舟を舟にうらゝとつひて。かけてまうて。山目  
る。そのまゝ中には。棟梁うらゝとつひ。二遍り。あるところを、  
そのまゝのまゝ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
びうらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
ら。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ  
うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝとつひ。うらゝ

初又巻進付出来

谷村清造湯板

江戸市を魚板

珍所

川清信清



通俗諸分床算法終

